

看護学研究科未来プラン2021

～足元を固め未来を見つめる看護学研究科～

■ 看護学研究科未来プラン2021で目指すこと

学部においては、現在検討している2023年度からの入学定員増を実現し、質の高い学部教育を軌道にのせ、確実に優秀な看護職人材を輩出します。また、大学院においては、実践コースや博士後期課程の充実を図り、実践家や研究者・教育者の育成に力を入れ、東海地域の看護学系大学の中心となります。さらに、海外留学生や社会人入学などを活用し、多様な背景を持つ人々を迎え入れることを促進します。

■ 社会情勢の変化・現状と課題

世の中は常に変化しています。特に今後10年の変化は少子化です。18歳人口は激減するため、少ない高校生にいかに本学部の魅力を感じてもらうかを工夫する必要があります。中央看護専門学校の廃止と看護学部の入学定員増は、少子化の影響を受けた看護学研究科の大きな変化です。変化は改善のチャンスともなります。この機会をとらえ、看護学研究科の独自の発展を考えます。また、パンデミックや自然災害は今後も断続的に続くと考えてられます。イレギュラーなイベントに柔軟に対応できる組織が求められます。これらの変化に対応するためには、業務のスリム化・効率化と人員の余裕が必要です。日頃から業務の負担や業務分担のバランスを調整し、ひとりひとりの教員が得意な分野で力を発揮できるように運営していく必要があります。

■ 代表的な取り組み

附属病院群との連携強化と課題解決型FDによる教育支援システム構築

東部医療センター、西部医療センターが大学病院化したため、これまでの名市大病院と看護学部との連携を東部医療センター・西部医療センターにも広げて、附属病院群との教育支援システム構築を目指します。さらに、看護学部での課題に焦点をあてたFD研修会を実施し、教育力を効率的に高めます。

名市大未来プラン2021 1-(4)

地域貢献事業の継続と発展

地域連携セミナー、なごや看護生涯学習公開講演会・セミナー、昭和生涯学習センター共催講座、こころの看護相談などの地域貢献事業の継続と発展の検討をします。

名市大未来プラン2021 3-(4)

多様な背景を持つ人びとやコミュニティへの健康支援に関する教育の取り組み

国内外における多様な健康ニーズへの理解を促進するフィールドを学生に提供し、個人と集団への健康支援ができる人材育成をめざした教育に取り組みます。

名市大未来プラン2021 4-(3)

(1) 新カリキュラムによる教育の充実と教育体制の強化

2022年度の新入生より新カリキュラムを開始します。各教員がPDCAサイクルをまわしながら新カリキュラムを推進し、特に本学の教育の特長を活かして新設した「多文化健康支援実習」の教育体制を強化して、教育の充実をはかります。また、2023年度から入学定員増を図ることに併せて、時代のニーズに合致した領域の再編成および専任教員増員による教育体制強化を目指します。

名市大未来プラン2021 1-(2)

【実行項目】

- ①PDCAサイクルによる新カリキュラムの推進（2025年度～）
- ②国際感覚等を身に付ける授業の支援体制強化（新規の「多文化健康支援実習」の充実と教育体制の強化）（2022年度～）
- ③時代のニーズに合致した領域の再編成と教育体制強化のための専任教員の増員（2022年度～）

(2) 看護学教育認証評価の受審準備

看護学教育認証評価の受審に備えるため、2022度から開始する新カリキュラムについて、各教員がその成果を可視化しつつ、改善に繋がります。一方で、受審に向けて情報収集を行います。

名市大未来プラン2021 1-(2)

【実行項目】

- ①2022年度開始の新カリキュラム成果の可視化（自己評価・成長実感アンケートなどの活用）と改善（2025年度～）
- ②看護学教育認証評価受審に向けた情報収集（2026年度～）

(3) 外国人・社会人の学修ニーズへの対応

大学院における多様な学びを支援するため、外国人が受験しやすくなるよう体制を整えるとともに、社会人学生にとって魅力ある制度やコースを構築します。

名市大未来プラン2021 1-(2)

【実行項目】

- ①博士課程における英語版学生募集要項の作成と英語外部試験の導入（2022年度～）
- ②看護実践スキルアップコースおよび専門看護師教育コースの職業実践力育成プログラム（BP）申請（2022年度～）
- ③専門看護師教育コースの教育訓練給付制度の講座申請（2022年度～）
- ④博士前期課程の新コース設置の検討（2024年度～）

(4) 附属病院群との連携強化と課題解決型FDによる教育支援システム構築

東部医療センター・西部医療センターが大学病院化したため、これまでの名市大病院と看護学部との連携を東部医療センター・西部医療センターにも拡げて、附属病院群との教育支援システム構築を目指します。さらに、看護学部での課題に焦点をあてたFD研修会を実施し、教育力を効率的に高めます。

名市大未来プラン2021 1-(4)

【実行項目】

- ①「名市大附属病院群看護学実習検討委員会（仮称）」の設置の検討（2022年度～）
- ②名市大附属病院群との演習指導派遣システムの構築の検討（2022年度～）
- ③看護実践教育共同センターを活用した名市大附属病院群との連携強化（2022年度～）
- ④看護学部の課題にフォーカスしたFD研修の実施（2023年度～）

(5) 臨床判断力と実践力獲得のための教育・学習環境の整備

臨床判断力と実践力をもった看護職育成のために、学生が自主的・自律的に学べる学修環境を整備します。シミュレーション教育は、学生が臨床判断力を獲得するために効果的であるため、これを積極的に実施します。

名市大未来プラン2021 1-(5)

【実行項目】

- ①学生の自主的・自律的な学修を可能にする収容力のある教室・演習室・実習室の整備（2023年度～）
- ②シミュレーション教育の実施の促進（2026年度～）

(6) ICTを活用した学修環境の充実および指導の進化

教育の質を担保できるように、時代の流れに応じてICTを活用した効率的な指導を積極的に進めていきます。一方、社会人学生が多い当研究科の大学院生の主体的な学びをサポートするため、ICTを活用した学修支援環境をブラッシュアップします。

名市大未来プラン2021 1-(6)

【実行項目】

- ①ICTを活用した授業の推進（2024年度～）
- ②対面授業と遠隔授業のハイブリッドの最適化と推進（2022年度～）
- ③遠方の社会人などを対象にした遠隔授業の推進（2024年度～）

(1) 優秀な看護職人材の大学院進学サポート

優秀な看護職人材が大学院に進学できるように、進学の数年前から様々な情報提供、多角的サポートを行い、大学院進学が円滑に行えるようにします。

名市大未来プラン2021 2-(6)

【実行項目】

- ①博士前期課程修了生の研究サポートと博士後期課程進学支援（2023年度～）
- ②大学院入試説明会以外に、「大学院を知る」「大学院を体験する」というレベルでの説明会や授業見学会などの検討（2023年度～）
- ③名市大附属病院群職員の大学院進学サポート方法の検討（2024年度～）
- ④学部4年生からの大学院進学特別枠の設定の検討（2022年度～）

(2) 若手教員の持続的な外部研究費の獲得支援

講師・助教などの若手教員が研究者としてのスタートを切ることができ、さらに継続して外部研究費が獲得できるように支援します。

名市大未来プラン2021 2-(8)

【実行項目】

- ①若手研究者のための研究相談支援の実施（2022年度～）
- ②若手研究者と先輩研究者とが領域を越えて意見交換できるように、定期的にFD・ミーティングなどを開催（2022年度～）
- ③若手研究者のための科研費ピアレビューをさらに充実（2024年度～）
- ④特別奨励研究費獲得のための支援の計画を立案（2025年度～）

(3) 学内外との共同研究の促進

看護研究推進センターをハブとし、他大学や他研究科との共同研究を促進します。

名市大未来プラン2021 2-(7)

【実行項目】

- ①共同研究を実施している教員によるFDなどを活用した研究紹介（2022年度～）
- ②共同研究経験者による共同研究ノウハウのFDを活用した伝授（2023年度～）
- ③URAとの連携を強化による、研究科間マッチングの促進（2023年度～）
- ④看護研究推進センターを設置し、学内外共同研究を促進する（2024年度～）

社会貢献

(1) 地域における看護の質向上に資する研修・研究事業の展開と評価

臨床現場への出前授業（遠隔講義含む）を活用し、臨床の看護職の方々への看護研究サポートを発展させていきます。

名市大未来プラン2021 3-(3)

【実行項目】

- ① 臨床看護職に向けた看護研究に関する出張講義・ワークショップの開催・出前による看護研究サポートにむけた準備（2022年度～）
- ② 臨床現場の看護研究の指導者・支援者向けのセミナーの開催（2023年度～）

(2) 地域貢献事業の継続と発展

地域連携セミナー、なごや看護生涯学習公開講演会・セミナー、昭和生涯学習センター共催講座、こころの看護相談などの地域貢献事業の継続と発展の検討をします。

名市大未来プラン2021 3-(4)

【実行項目】

- ① 地域連携セミナー、なごや看護生涯学習公開講演会・セミナー、昭和生涯学習センター共催講座の安定的な開催と発展の検討（2022年度～）
- ② こころの看護相談事業の安定的な継続と発展の検討（2023年度～）
- ③ 地域施設との新たな共催講座などの検討（2024年度～）

国際化

(1) 広報の充実による看護学部の魅力の国内外への発信

看護学研究科としての取り組み内容（教育・研究・社会貢献）についての先駆的な取り組みを国内外に発信していきます。

名市大未来プラン2021 4-(1)

【実行項目】

- ① 看護学研究科・看護学部の日本語ホームページと同等の量・質の英文ホームページの国内外への発信（2022年度～）
- ② 看護学研究科としての取り組み内容（教育・研究・社会貢献）の集約し、国内外に発信（2024年度～）
- ③ 大学院学生募集要項の英語版パンフレット（博士課程）について準備し、留学生受け入れに伴い、入学願書の英語版も整備（2022年度～）

(2) 国際化ニーズに対応するための教員の教育・研究力向上

国際的な研究者のネットワークを発掘、構築、発展できる基礎力を教員が身に付けることを目指します。また海外の研究パートナーを見つけ、つながりやすい機会を整備します。

名市大未来プラン2021 4-(1)

【実行項目】

- ①国際化を見据えたFD活動を実施（2024年度～）
- ②国際共同研究の経験を有する教員が経験を共有するFD活動を実施（2024年度～）
- ③協定校教員との合同FD活動を実施（2026年度～）
- ④看護学研究科国際化推進奨励費を継続（2021年度～）

(3) 多様な背景を持つ人びとやコミュニティへの健康支援に関する教育の取り組み

国内外における多様な健康ニーズへの理解を促進するフィールドを学生に提供し、個人と集団への健康支援ができる人材育成をめざした教育に取り組みます。

名市大未来プラン2021 4-(3)

【実行項目】

- ①在学中に参加可能な開学短期研修・留学プログラムの探し方の情報提供を進路ガイダンスの中で実施（2024年度～）
- ②ICTを活用した授業公開、交流講義、授業の相互参加を促進（2026年度～）
- ③学部が実施する交流協定校との短期研修プログラムを継続（2026年度～）
- ④名古屋市圏での外国にルーツを持つ人々の支援について学ぶ機会を学生に提供（2026年度～）

(4) 大学院における国際化の推進

大学院生自らが未来に向けて、国際的な研究者として自立できるような研究環境を整備します。国際的な授業、セミナーの互換制度の充実に向けて、拠点校・提携校との相互交流・ネットワーク構築を拡充します。

名市大未来プラン2021 4-(3)

【実行項目】

- ①大学院生の海外発表支援応募と国際学会発表を支援（2024年度～）
- ②拠点校シンポジウムでの発表を促進（2024年度～）

(1) 附属病院群への優秀な看護職人材の輩出

現在検討している2023年度からの入学定員増を実現し、将来の附属病院群の中核を担う、研究マインドを持った優秀な看護職人材を輩出します。

名市大未来プラン2021 5-(5)

【実行項目】

- ①附属病院群に就職する優秀な学生に対する奨学制度の検討（2022年度～）
- ②看護研究コースの設置の検討（2023年度～）

経営基盤

(1) 寄付金の積極的な獲得

看護学部独自の学生支援を行うため、名古屋市立大学看護学生育英奨学金を創設し、積極的な寄付募集を行います。

名市大未来プラン2021 6-(2)

【実行項目】

- ①看護学部独自の寄付募集リーフレットの作成（2021年度～）
- ②多様な寄付形態の受入れの検討（2022年度～）

組織マネジメント

(1) 新しい人事評価システムの作成

研究・教育・運営などに関する実績を、会議参加、講義、実習、論文執筆、院生指導の日時や数を入力することで自動的にカウントするシステムなどに変更し、年度末にまとめて入力する教員の負担減および正確な評価システムの構築を目指します。

名市大未来プラン2021 7-(2)

【実行項目】

- ①女性研究者用の人事評価システムの有用性について検討（2022年度～）
- ②従来の価値基準の見直しを検討（2026年度～）

(1) 看護学部2キャンパスのシームレスな活用の実現

現在検討されている看護学部の入学定員増の後には、看護学部は桜山キャンパスと葵キャンパスの2つのキャンパスで専門教育を行うようになります。これは従来の教養教育と専門教育を異なるキャンパスで行うことよりも、より緻密なキャンパス間の配分計画を必要とします。そこで、従来以上にICTを充実・活用することで、1つのキャンパスでの専門教育と遜色ない教育環境を実現させ、さらに、豊かになる施設インフラを活かしてMIRAIへ向けた教育研究的取り組みを促進することを目指します。

名市大未来プラン2021 8-(3)

【実行項目】

- ① 桜山キャンパス-葵キャンパス間を高速専用回線にて接続し、看護学研究科VLANを構築（2022年度～）
- ② 葵キャンパスの教室及び研究室の有線LANを整備し、桜山キャンパスと同等の教育・研究ネットワーク環境を整備（2022年度～）
- ③ 桜山キャンパスと葵キャンパスを包括するVLANに教育研究用ファイルサーバーを構築し、2キャンパスの教員間でのシームレスな情報共有・活用を推進（2022年度～）
- ④ 葵キャンパスの教室、学生ホール、ラウンジ等にncuwifiを整備し、桜山キャンパスと同等の無線LAN環境を整備（2023年度～）
- ⑤ 桜山キャンパスと葵キャンパスの情報処理教室に設置されている学生用PCを看護学研究科学生用VLANにて接続し、両キャンパスでシームレスに活用できる学生用ファイルフォルダを提供（2023年度～）

(2) ブランド力強化による看護学部のプレゼンス強化

学生への手厚い指導により、看護師・保健師・助産師の国家試験合格率100%を継続します。また、市大看護学部独自のマスコットキャラクターを作成することにより、数多く存在する看護学部の中でも特色ある大学としてアピールします。

名市大未来プラン2021 8-(4)

【実行項目】

- ① 看護師・保健師・助産師の国家試験合格率100%の継続（2021年度～）
- ② 市大看護学部マスコットキャラクターの作成(学生などに公募)（2023年度～）
- ③ 市大看護学部のマスコットキャラクターのノベルティグッズ開発（2024年度～）
- ④ 高校への出張授業、イベント等へのマスコットキャラクターの展開（2025年度～）